

司 式 熊 田 雄 二 牧 師

奏 楽 五 十 嵐 美 代 枝 姉 妹

前 奏

開 会 招 詞

* 賛 美 歌 49 : 1 あめなる喜び

あめなる喜び こよなき愛を たずさえくだれる我が君イエスよ
救いの恵みをあらわに示し いやしきこの身に宿らせたまえ アーメン

* 開 会 祈 禱

罪 の 告 白 祈 禱 書 3 罪 の 告 白 ②

主なる神よ、あなたの御前に背きの罪を告白します。わたしは聖なる戒めに従わず、失われた羊のように迷い出て、思いと言葉と行いにおいて罪を犯しました。しなければならないことをせず、してはならないことをして、自分の身に、あなたの怒りと裁きを招きました。憐れみに富んでおられる父よ、罪と過ちを悲しむわたしに憐れみを注いでください。神の独り子である救い主の名によって、わたしを赦してください。聖霊の恵みによって、わたしを新しく生まれ変わらせてください。願わくは今から後、み栄えのために生きる者とならせてください。

主イエス・キリストの御名によって。アーメン。(詩編32、イザヤ53、ローマ7)
罪の赦しの宣言

十 戒 祈 禱 書 4

- あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
- あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。
- あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱える者を、罰しないではおかない。
- 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
- あなたの父と母を敬え。
- あなたは殺してはならない。
- あなたは姦淫してはならない。
- あなたは盗んではならない。
- あなたは隣人について偽証してはならない。
- あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人のものをむさぼってはならない。(出エジプト20、申命記5)

* 賛 美 歌 49 : 2 命をあたうる主よ

命をあたうる主よとどまりて われらの心をとこ宮となし
あしたに夕べに祈りをささげ 讃えの歌をば歌わせたまえ アーメン

共同の祈祷 祈祷書6 ニケア信条(三位一体主日・その他適切な主日)

われ ゆいいつ ぜんのう かみ てん ち み み そうぞうしゃ しん
我らは、唯一の全能の神、天と地と、すべて見えるものと見えざるものとの創造者を信ず。
われ ゆいいつ しゅ かみ ひと しん しゅ
我らは、唯一の主、神の独り子、イエス・キリストを信ず。主は、あらゆる世のさきのみ父より生
まれ、神よりの神、光よりの光、造られずして生まれ、み父と同一の本質にいます真の神。万物
は彼によりて造られた。主は、我ら人間のため、我らの救いのために天より降り、聖霊によって
おとめ じゆにく ひと われ
処女マリアより受肉して人となり、我らのために、ポンテオ・ピラトのもとに十字架につけら
れ、苦しみを受け、葬られ、聖書に従って三日目によみがえり、天に昇り、み父の右に座し、生
ける者と死ぬる者とを審くために、栄光をおびて再び来たりたもう。その御国は終わることがな
い。 われ せいめい あた めし しゅ せいれい しん せいれい ちち み こ い
我らは、生命の与え主にして、主なる聖霊を信ず。聖霊はみ父と御子とより出で、み父と
み こ れいはい よげんしゃ とお かた われ ゆいいつ せい せい
御子とともに礼拝され、あがめられ、預言者を通して語りたもう。我らは、唯一の聖なる共同の
しとてききょうかい しん われ つみ ゆる ゆいいつ せんれい こくはく われ しにん
使徒的教会を信ず。我らは、罪の赦しのための、唯一の洗礼を告白す。我らは、死人のよみがえり
と、来たるべき世の命とを待ち望む。 アーメン。

献 金 (黒) 教会活動 (赤) 全国学生会修養会を覚えて 70

今ささぐるそなえものを 主よ きよめて うけたまえ アーメン

聖書朗読 ルカによる福音書5章33-39節(新約聖書111頁)

説教・祈祷 「新しい命の力」 熊田雄二牧師

* 賛美歌 49:3 我らを新たに

我らを新たに創り清めて 栄えに栄えを いや増し加え

御国に上りて御前に伏す日 御顔の光をうつさせたまえ アーメン

* 主の祈り 祈祷書1

てん われ ちち
天にまします我らの父よ
ねが み な
願わくは御名をあがめさせたまえ
みくに き みこころ てん ち
御国を来たらせたまえ 御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ
われ にちよう かに きよう あた
我らの日用の糧を 今日も与えたまえ
われ つみ おか もの われ ゆる
我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく 我らの罪をも赦したまえ
われ こころ あ あく すく いた
我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ
くに ちから さか かぎ なんじ
国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

* 頌 栄 67主イエスの恵みよ

主イエスの恵みよ 父の愛よ 御霊の力よ ああ み栄えよ アーメン

* 祝 禱

後 奏 (黙禱)

報 告

門脇献一長老

I イエスに質問した人々

「断食についての問答」という小見出しが付けられている所、本当は小見出しなどないので、前の段落からの続きでしょう。30節の徴税人マタイたちや罪人たちとの食事で「飲んだり食べたり」を批判したのは「ファリサイ派の人々やその派の律法学者たち」でした。きょうの段落の始まり33節で「飲んだり食べたり」を批判しているのは、単に「人々」です。

マタイ福音書の同じ話では段落の始めに「そのころ」という、話が切り替わる時によく用いるフレイズがあるのですが、口語訳聖書の「その時」がよいでしょう（Toteの訳）。マタイがイエス様の弟子になることを喜んで宴会を開いている時です。

ただ、マタイ福音書では、イエスが徴税人マタイたちや罪人たちと食事をしていたその時やって来た「人々」は、洗礼者ヨハネの弟子たちでした。彼らはイエスにこう言いました。「私たちとファリサイ派の人々はよく断食しているのに、なぜ、あなたの弟子たちは断食しないのですか。」ヨハネ派はイエス派に近いのか、ファリサイ派に近いのか微妙な問い方です。洗礼者ヨハネの弟子たちの中で、イエスの弟子になったのはペトロの弟子アンデレほか少数である理由が少し分かるような気がします。

洗礼者ヨハネは、イエスのことを「私はあの方の靴のひもを解く値打ちもない」と言っていたので、もっとたくさんの弟子がイエスの所に移ってもよさそうです。特にヨハネがヘロデ王によって投獄された時、旧約預言者の時代は終わり、メシアの時代が始まりました。旧約時代はメシアを準備した時代、新約時代はメシア登場の新しい時代です。

ヨハネは牢屋から弟子たちを遣わして、イエスに質問しました。「あなたがメシアで間違いないですね。」イエスは預言者イザヤの預言でお答えになりました。イザヤ書35章、「荒れ野よ、荒れ地よ、喜び躍れ。砂漠よ、喜び、花を咲かせよ、野ばらの花を一面に咲かせよ。・・・その時、見えない人の目が開き、聞こえない人の耳が開く。その時、歩けなかった人が鹿のように躍り上がる。口の利けなかった人が喜び歌う。荒れ野に水が湧きいで荒れ地に川が流れる。・・・」まるで新しいぶどう酒が発行してブクブクしているようです。

イエスがメシアの仕事を開始なさったので、重い皮膚病の人が癒されて喜び躍り、中風の人が癒されて立ち上がり神を讃美しながら帰って行きました。ルカは、これらの癒しの出来事に続けて徴税人や罪人たちの盛大な宴会を描いているのです。

II 新しいぶどう酒

イエスは、「人々」に結婚式の披露宴の譬えでお応えになりました。

旧約聖書では、神と神の民の関係が夫婦の関係に譬えられました。新約聖書ではキリストと教会が花婿と花嫁の関係に譬えられます。イエスは、きょうの場面で、「花婿が奪い取られる時が来る。その時には断食する」とメシアの受難を予告されましたが、キリストと一緒に食事している今は、断食より宴会だと、新しい命の喜びを言い放ったのです。

また、結婚式には晴れ着を着るので、真新しい布で作るものです。大量生産の今日、次々と買っては古着屋に持って行く生活からは想像しにくいですが、2000年前、布は当然

ながら長時間かけて手で織るのです。高価で貴重なものでした。だからクタクタになるまで着るのです。

そこで、古着に継ぎを当てることなどできません。小さな新しい継ぎが大きなクタクタの古着を破ってしまうのです。それは新しいぶどう酒を古い革袋に入れるようなものだと、イエスは話されました。

また、結婚式にはぶどう酒がつきものでした。通常、ぶどう酒は、かめやつぼに入れて発酵させ、10日くらい経ってから革袋に入れます。しかし、新しいぶどう酒は発酵力が強いので、革袋が古くてクタクタになっていると張り裂いてしまいます。そのように、キリストと一緒にいる宴の喜びは、新しい命の喜びとして爆発すると、イエスは言われたのです。

マタイは、この話に続けて、ある指導者の娘の癒しとイエスの服に触わる女の話の短くまとめています。マルコ福音書とルカ福音書では、別の箇所です詳しく取り上げています。すなわち、マタイ福音書では、新しいぶどう酒の発酵力と、娘が生き返る話とは密接な関係があるというメッセージです。キリストによって新しい命が起こるというメッセージです。

キリストは奪い去られる花婿であります。復活の時には、新たな生命力を魂の死んだ罪人に吹き込んでくださいます。キリストの死と復活は、罪の赦しと新しい命の祝福です。神の子キリストが共におられるなら、死んだ命も死んだままではられません。新しい生命力が鮮やかに始まっているのです。

III 罪を赦す権威は誰が持つか

きょうのエピソードは、罪を赦す権威の話の続きでもありました。中風の人を癒された時、イエスは「あなたの罪は赦された」と言われました。これに対して律法主義のファリサイ派や律法の教師たちが「神への冒瀆だ。神のほかに誰が罪を赦せるだろうか」と、心の中でつぶやきました。イエスは「人の子すなわちキリストが、地上で罪を赦す権威を持っていることを知らせよう」と言って、中風の人に奇跡の癒しをなさいました。

地上で罪を赦す権威は、地上に来られた神の子イエス・キリストだけが持つのです。

中風の人を癒す話に続けて、徴税人や罪人の宴会の話があるわけですが、罪を赦す権威を持つ神の子が天から地上に来られて、「医者が必要とするのは、健康な人ではなく病人である。私が来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためである」と宣言されました。

「私は罪人を招くために来た」と宣言された事は、新しい事が起こることも意味しています。地上で罪を赦す権威を持つキリストに近寄った者には、新しい出来事が起こりました。中風の人とその人を連れて来た人たちの信仰を見て、「人よ、あなたの罪は赦された」と主イエスは言われました。この権威は罪を赦すだけでなく、新しい命を与える力を持つのです。赦された人たちは新しい命による生活が始まりました。それゆえ、信仰と悔い改めと行いはセットです。信じる者は悔い改めて善い行いに励むのです。

「だから、キリストに結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。」（第二コリント5：17）新しい創造は、今、地上から始まっています。礼拝でキリストと共にいるという思いを、繰り返し強めていただいて、私は新しく生まれた者であるという生き方をしよう。